

平成 2 4 年 度

川崎市下水道事業会計決算概況

川崎市上下水道局

1 平成24年度 下水道事業会計決算概況

(1) 総括事項

下水道は、市民の快適な生活環境の実現と公共用水域の水質保全及び雨水排除等のために欠くことのできない都市の基幹施設であり、平成24年度も引き続き、本市の重要施策の一つとして、事業に取り組んでまいりました。

平成24年度は、都市基盤施設としての下水道機能の維持向上を図るため、施設の効率的・効果的な維持管理と更新、また、東日本大震災を踏まえた地震対策など優先順位や重点化を考慮した建設整備を行ってまいりました。

一方、財政面では、下水道経営の健全化を図るため、事業運営の効率化に努めてきたことなどにより、前年度に引き続き当年度純利益を計上することができましたが、過去の建設投資の影響により、未だ企業債未償還残高は高い水準にあり、依然として厳しい財政状況にあります。

(業務の状況)

平成24年度末における処理面積は1万683ha、処理人口は143万1,113人で、人口普及率は99.4%に達しています。

また、有収水量は1億4,759万9,311 m^3 で、下水道使用料は税抜きで224億10万467円です。

(建設及び改良工事)

平成24年度の建設改良費の決算額は、前年度からの繰越事業費を加えて、151億4,499万7,131円となっております。

また、81億3,000万円を平成25年度に繰り越しました。

主な建設改良工事として、管きょについては、水洗化の普及、浸水地域の解消を図るため、下水幹枝線工事を施行しました。また、下水道機能の確保及び道路陥没等の二次的被害の発生を防ぐため、老朽化の著しい管きょの再整備工事を施行しました。

貯留管関連については、大師河原貯留管の建設工事をはじめ、前年度に引き続き渋川雨水貯留管バイパス管の建設工事を施行しました。

ポンプ場については、渡田・六郷・京町・観音川・小向・古市場ポンプ場等で設備の更新工事を施行しました。

水処理センター等については、入江崎・加瀬・等々力・麻生の4水処理センター及び入江崎総合スラッジセンターの更新工事を施行しました。

また、入江崎水処理センターにおいては、前年度に引き続き西系の再構築（高度処理対応）工事を、等々力水処理センター等においては施設の耐震化工事を施行しました。

2 平成24年度 下水道事業会計決算総括表

(1) 予算執行状況

ア 収入（税込額）

（単位 円）

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的収入	38,203,113,000	37,915,457,742	△ 287,655,258	99.2%
資本的収入	44,370,454,000	35,712,029,003	△ 8,658,424,997	80.5%
合計	82,573,567,000	73,627,486,745	△ 8,946,080,255	89.2%

イ 支出（税込額）

（単位 円）

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
収益的支出	37,099,683,000	36,377,648,200	△ 722,034,800	98.1%
資本的支出	61,456,500,000	52,784,473,504	△ 8,672,026,496	85.9%
合計	98,556,183,000	89,162,121,704	△ 9,394,061,296	90.5%

(2) 収益的収支・資本的収支

ア 収益的収支（税込額）

（単位 円）

区分	収入	支出	収支差引
収益的収支	37,915,457,742	36,377,648,200	1,537,809,542

収益的収支差額（税抜額） = 当年度純利益 **858,206,702**

イ 資本的収支（税込額）

（単位 円）

区分	収入	支出	収支差引
資本的収支	35,712,029,003	52,784,473,504	△ 17,072,444,501

資本的収入額（翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 **135,126,000円**は除く）が資本的支出額に不足する額 **17,207,570,501円**は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 **679,487,840円**、繰越工事資金 **8,989,000円**、減債積立金 **611,637,966円**及び当年度分損益勘定留保資金 **15,907,455,695円**で補てんした。

(3) 資金過不足額

ア 平成24年度単年度資金過不足額

（単位 円）

区分	金額	備考
当年度純利益（A）	858,206,702	<補てん財源等の内訳> ・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 679,487,840 ・繰越工事資金 8,989,000 ・減債積立金 611,637,966 ・当年度分損益勘定留保資金 15,907,455,695 〔減価償却費 14,928,759,911 固定資産除却損等 978,695,784 〕
資本的収支差額（B）	△ 17,072,444,501	
補てん財源等（C）	17,207,570,501	
単年度資金残額 （A）+（B）+（C）	993,332,702	

※単年度資金残額には翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 **135,126,000円**を含む。

イ 累積資金過不足額

(単位 円)

平成23年度末 資金残額※	平成24年度 単年度資金残額	平成24年度末 資金残額
623,884,931	993,332,702	1,617,217,633

※前年度資金残額から、補てん財源（繰越工事資金及び減債積立金）を除いた金額。

(4) 経営成績（税抜額）

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	26,108,173,990	営業収益	35,451,567,431
営業外費用	9,814,947,792	営業外収益	1,232,839,993
特別損失	3,126,287	特別利益	100,047,347
総費用	35,926,248,069	総収益	36,784,454,771
当年度純利益	858,206,702	当年度純損失	-
前年度繰越 利益剰余金	184,507,583	前年度繰越 欠損金	-
当年度末処分 利益剰余金	1,042,714,285	当年度末処理 欠損金	-

(5) 財政健全化法における資金不足比率の状況

会 計 名	資 金 不 足 比 率	経 営 健 全 化 基 準
下水道事業会計	- (資金不足となっていない)	20%

※資金不足比率は現段階での速報値である。

3 業務の状況

項目 \ 年度	平成 24 年度	平成 23 年度	増 △ 減 (%)
総人口 (人)	1,440,474	1,432,374	(0.6 %) 8,100
処理人口 (人)	1,431,113	1,422,885	(0.6 %) 8,228
人口普及率 (%)	99.4	99.3	(0.1 %) 0.10
処理面積 (ha)	10,683	10,677	(0.1 %) 6
排水区域面積 (ha)	10,683	10,677	(0.1 %) 6
水洗化対象件数 (件)	669,787	664,297	(0.8 %) 5,490
水洗化件数 (件)	665,292	659,357	(0.9 %) 5,935
水洗化助成件数 (件)	47	81	(△ 42.0 %) △ 34
年間処理水量 (m ³)	197,576,485	198,888,789	(△ 0.7 %) △ 1,312,304
1日平均処理水量 (m ³ /日)	541,305	543,412	(△ 0.4 %) △ 2,107
年間有収水量 (m ³)	147,599,311	146,798,176	(0.5 %) 801,135
管渠布設延長 (m)	3,073,474	3,054,206	(0.6 %) 19,268
下水道使用料 (円) (税抜額)	22,400,100,467	22,476,668,639	(△ 0.3 %) △ 76,568,172